

「授業体験プログラム」

1. 目的

一般にペーパーテストは、受験者の能力の一部のみしか評価できず、試験方法としては不完全なものです。この問題を解決するために、いわゆるアドミッションオフィス入試が採り入れられ、エッセイや面接などによる多角的評価を行う例が多くなりました。しかし、アドミッションオフィス入試も短時間の面接では十分に受験者の能力を見ることができず、限界がありました。

本学では、新規に「授業体験プログラム」を設定し、受験者がオープンキャンパス時に講義を受け、その講義の課題に取り組み、レポートを提出した上で、教員がそれに対してコメントを付け、添削するという過程を通して、受験者の資質を多角的に判定しようと考えております。

2. 実施

(1) 修了証

講義・添削担当教員が一定の水準に達していると判定した受験者には、「授業体験プログラム修了証」を発行し、本学の総合型入試を受験する際に修了証を提示した者には、総合型入試において肯定的な評価の対象といたします。

(2) 実施日時

7月、8月のオープンキャンパス内で実施することを予定しています（実施日は大学HPにてご確認ください）。

(3) 修了証発行枠

修了証の発行は、最大30人程度までとします。